

**2016 年がスタート、3 学期始業式での一言は「挑戦」！**

1月7日より、3学期がスタートしました。全校生徒が元気な顔で登校できたことを本当にうれしく思います。校長先生から始業式では、1月1日の新聞から選んだ二つ言葉を紹介しました。元日の新聞には人生の道標となる言葉が多く掲載されています。一つ目は「挑戦」です。『挑戦はすべての人に平等だ。だから美しい。だから過酷だ。挑戦は夢を育て、時には挫折を生む。それでも、僕らは挑戦をやめない。ひと知れず流した汗が、涙が、挑みつづけたすべての日々が、いつかは世界を変えていくと信じるから。夢を追いかけるひたむきな挑戦者たち。その姿に、私たちは勇気をもらい、自らの夢に挑んできた。そして世界は前へと進んできたのだ。』さらに、二つ目は特に3年生に語りたい言葉「仲間」です。『同じ悩みや焦りを口にすることで、立ち足はだかる不安とうまく付き合っていくことができる。同じ夢や目標を語り合うことで、ひとりでは折れそうになる自分を奮立たせることができる。最大のライバルであり、最高の仲間と過ごす時間。ここにしかない、そのかけがえのない時間の繰り返しが、お互いの可能性を広げていく。3年間、この教室で生まれた絆の一つ一つは、きっと卒業後のずっと先まで輝くものになる。』卒業というゴールの日は3月11日と決まっています。それまでには、進路決定というハードルを飛び越えるという試練がありますが、第67期生というチームが一つになって見事乗り越えてほしいと思います。最高の仲間と最高の卒業式を、先生方と共に！！

**冬休みの頑張りが試されるテスト、進路決定に向けて！**

3年生は1月8日に最後の実力テスト、1・2年生は13日にチャレンジテストと冬休みでの学習の頑張りが試されました。特に今後、中学1・2年生が受験することになる大阪府公立高等学校入学者選抜においては、大阪府教育委員会より中学校が行う調査書評定について、府内統一ルールが次のように定められました。

① 各中学校が年度末に生徒の評定をつける。② 府教育委員会が、1・2学期の仮評定(約3割の中学校から抽出)の状況とチャレンジテストの結果から、3月初旬までに「評定の範囲」を算出。③ 各中学校は、生徒の個々のチャレンジテストの得点が、府教育委員会が設定した「評定の範囲」内にあるかを確認。もし、範囲外なら入試における調査書の評定を修正する。

※テスト結果は、あくまでも成績の一部です。大切なことは、日々の授業での学びですよ。

**吉田松陰（幕末の志士）の言葉**

毎日、一つの文字を覚えれば、一年間で365の文字を覚えることができる。

毎日、一時間を無駄に過ごせば、人生100年の間に3万6500時間を失う。

一つ善を成せば、その善は自分の成果となる。

一日努力すれば、その努力分だけ自分のものとなる。

行わなかった過去を後悔するよりも

今日から決意して、新しい一日をスタートするべきである。

始めるのに遅すぎるということはない。

毎日を全力で生きる人にとって、年齢などとは関係ないのである。